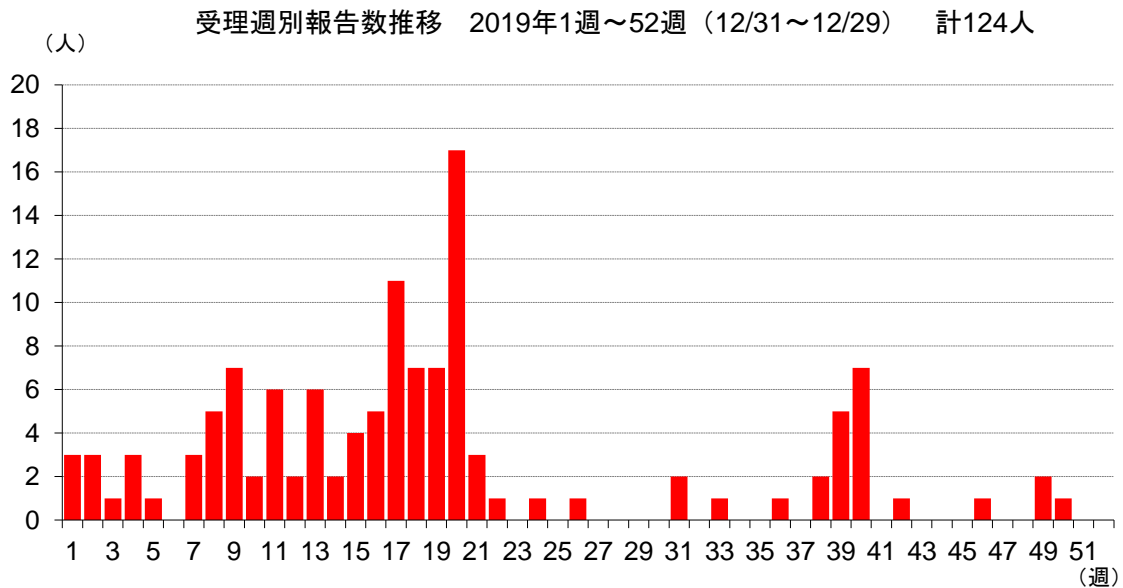


都内における麻しんの発生状況（2019年第1週から52週）

東京都健康安全研究センター

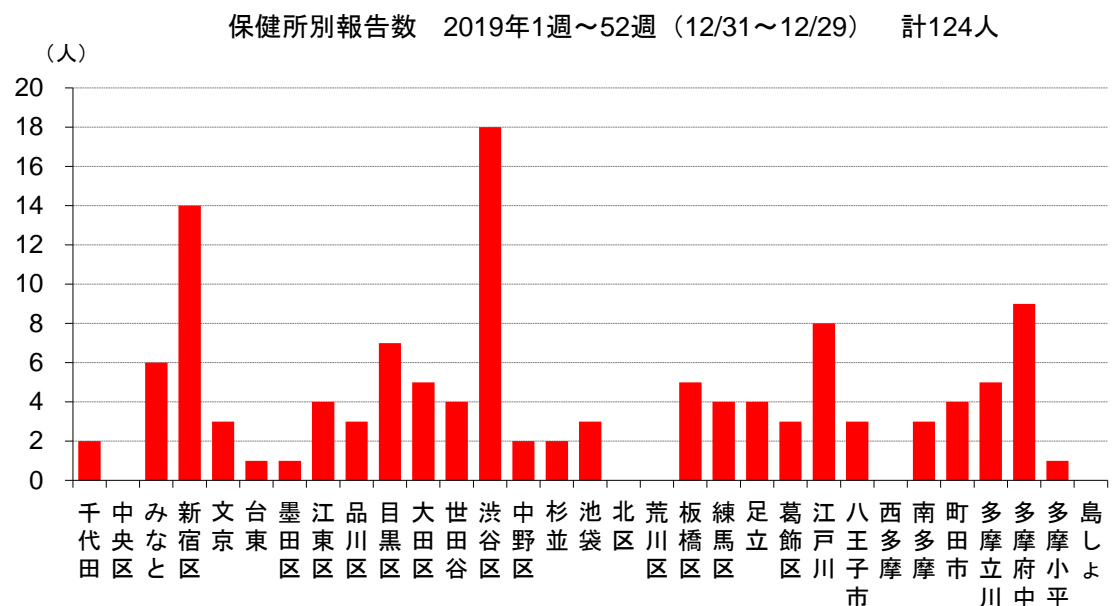
1. 患者報告数の推移

2019年の年間累計報告数は124人であった。22週までほぼ毎週報告があり、ピークは20週（5月13日から19日）で1週間に17人が報告された。23週以降は、39週に5人、40週に7人の報告があった以外は、毎週0～2人の報告で推移している。



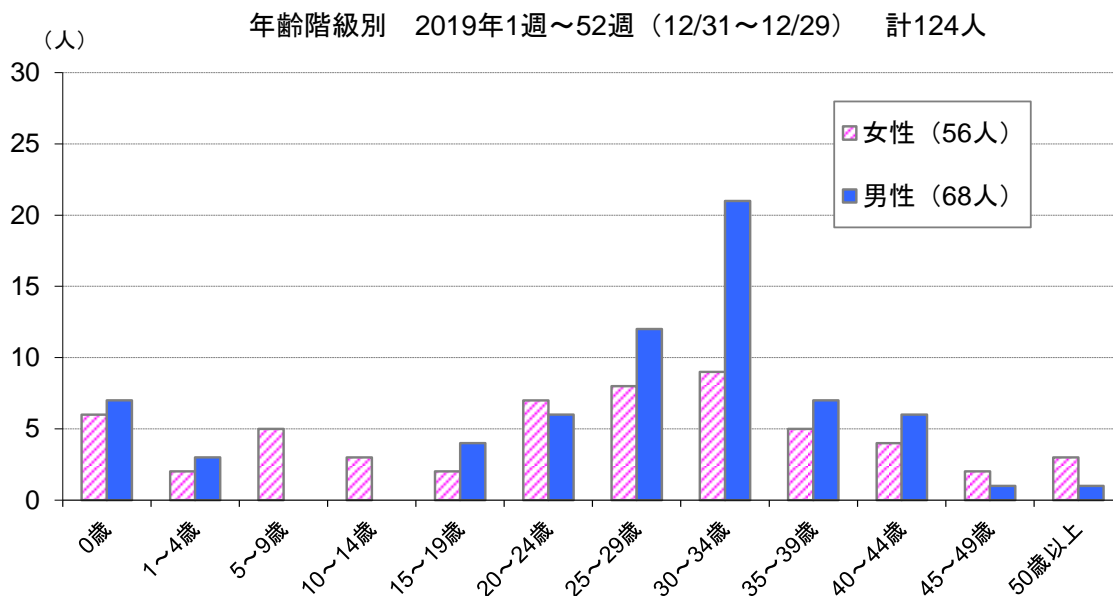
2. 保健所別報告数

31保健所中、26保健所から報告があった。報告数が多いのは渋谷区保健所（18人）、新宿区保健所（14人）であった。



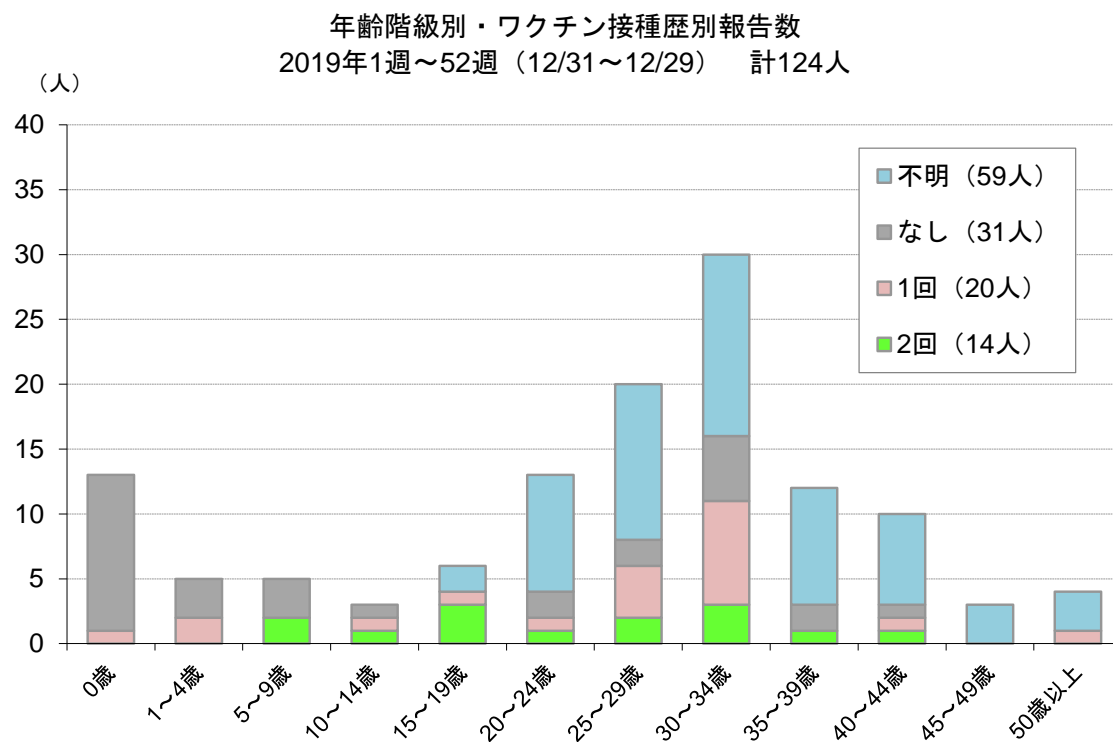
3. 年齢階級別・性別報告数

性別は男性 68 人、女性 56 人で男性の方が多かった。年齢階級別・性別でみると、報告数が多いのは 30～34 歳の男性（21 人）であった。



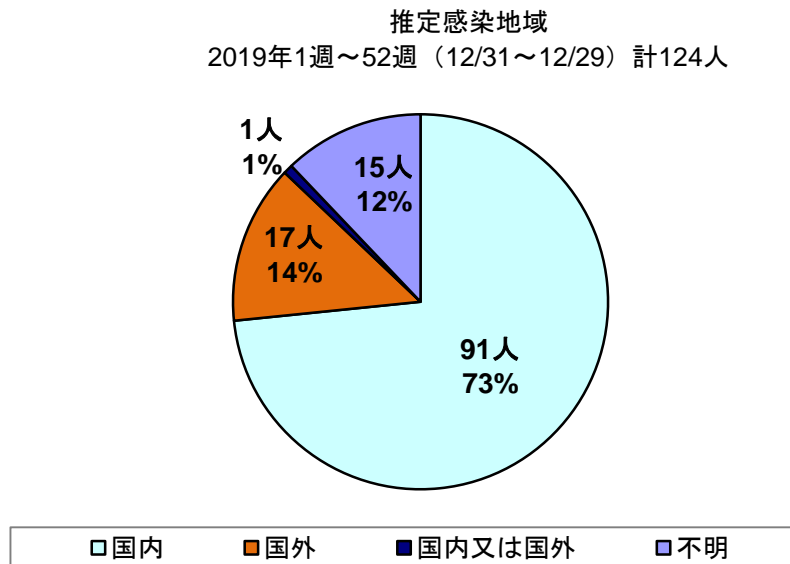
4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別でみると、2回接種が 14 人、1回接種が 20 人、接種なしが 31 人、不明が 59 人であり、接種なしと不明を合わせた割合は約 73%であった。



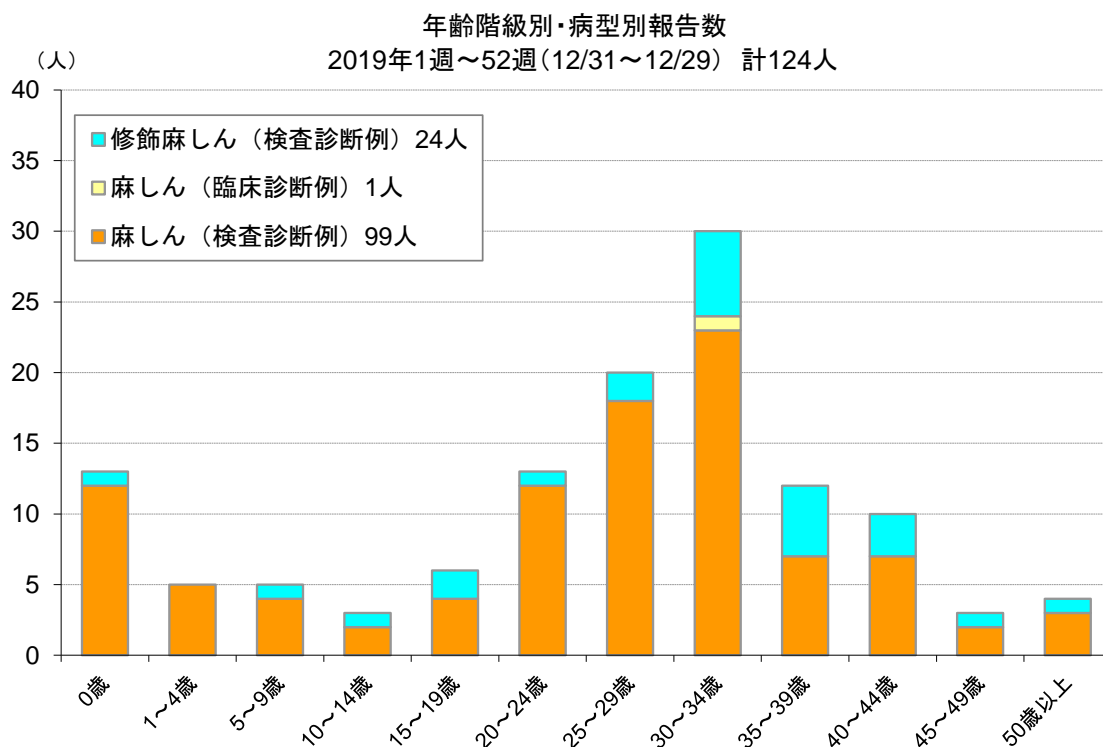
5. 推定感染地域

推定感染地域は「国内」が91人（73%）、「国外」が17人（14%）、「国内又は国外」が1人（1%）、「不明」が15人（12%）であった。昨年よりも推定感染地「国内」は21ポイント増加した。（推定感染地「国外」は16ポイント減少した。）



6. 年齢階級別・病型別報告数

病型別でみると、麻しん（検査診断例）が99人、麻しん（臨床診断例）が1人、修飾麻しん（検査診断例）が24人と、麻しん（検査診断例）が多かった。



7. 事例概要

検査診断例 123 人中、検体から直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出は 73 人で抗体の検出は 50 人であった。病原体遺伝子が検出された 73 人中、遺伝子型 D8 は 37 人、B3 は 36 人であった。

8. 集団発生報告数

集団発生は企業 5 件、医療機関 3 件、保育園 1 件の報告であった。

受理週	場所	管轄保健所	初発発症日	患者報告数
8	企業(配送)	多摩府中	2月3日	2
9	医療機関	多摩府中	2月17日	3
11	企業(配送)	世田谷	3月7日	2
16	医療機関	渋谷区	4月12日	6
17	保育園	みなと	4月20日	3
	企業(通信)	みなと	4月26日	10
19	医療機関	新宿区	5月5日	2
33	企業(ビザ代行)	みなと	8月16日	2
37	企業(IT)	品川区	9月8日	10

<参考>

麻しん患者報告数の推移（2015年～2019年）

過去5年間でみると、2019年は最も多い報告数となった。

